

# 市報 やまぐち

1998 12/1 NO.1233

DECEMBER  
Communication Paper Yamaguchi

## CONTENTS 主な内容

名田島地区農業集落排水  
(仮称)文化交流プラザの役割  
外から見た山口市のまちづくり



# 平成10年度 山口市表彰

平成10年度市表彰の表彰式が11月24日に行われ、24人6団体の方に佐内市長から表彰状と感謝状を贈り、功績をたたえました。受賞された方は次のとおりです。

( ) 内は年齢、住所、功績です。(敬称略)

## 自治功労者

溝部一博(58・大内矢田・納税貯蓄組合長15年)  
森田常一(65・秋穂二島・納税貯蓄組合長15年)  
片山忠男(79・東山一丁目・市協)

力委員10年)

原田茂雄(68・大内御堀・市協力委員10年)

野稲房代(68・湯田温泉六丁目・統計調査員24年)

益岡米子(64・芝崎町・統計調査員22年)

## 芸術文化功労者

渡邊宗尤(94・京都市・60年にわたり茶道の振興発展に寄与)

## 社会事業功労者

民生委員・児童委員を15年間務められた次の6人の方が表彰されました。

前田勝子(69・後河原)

安田タカコ(77・泉都町)

榎本一子(68・宮島町)

杉山ミチエ(66・吉敷)

風呂八千代(64・嘉川)

柳井忠美(72・佐山)

## 体育事業功労者

体育指導委員を15年間務められた次の3人の方が表彰されました。

藤村彰一(51・矢原)

倉田幸登(65・宮野下)

齋藤章(59・古熊二丁目)

## 産業功労者

勝谷定幸(71・宮野上・宮野財産区所有の県行造林監守員として22年、市有林監守人として13年にわたり市の林務事業の振興発展に尽力)

## 篤行者

河井英雄(66・宮野下・平成10年6月10日下関市において、凶器所持の凶悪事件の犯人を追跡し、逮捕に貢献)

## 人命救助者

重舛伸(41・平井・平成10年5月23日、樫野川でおぼれかけていた小学4年生を救助)  
西崎久扇(17・赤妻町・平成10年6月10日、吉敷川でおぼれかけていた女性を救助)  
井関真司(16・赤妻町・平成10年6月10日、吉敷川でおぼれかけていた女性を救助)

## 優良団体

株式会社えびすや(吉敷・23年にわたり通学児童等の交通安全街頭指導を行うとともに、平成3年

から交通安全モデル事業所として交通事故防止に尽力)

シマダ株式会社(前町・45年にわたり社員全員で交通立哨を行うとともに、全国交通安全運動へ積極的に参加されるなど、交通事故防止に尽力)

泉町泉寿会(泉町・21年にわたり地域の美化活動に積極的な取り組みをされ、環境美化の推進に尽力)

## 寄附功勞

早川聖(57・枚方市・二島中学校校舎落成記念事業として、大型プラズマビジョン1台を寄附)

大谷巖(64・松江市・中原中也記念館に中也直筆書簡を含む資料3点を寄附)

(故)岩崎貴美恵(享年80・中尾・在宅福祉事業のため1千万円を寄附)

株式会社エスイー(東京都・市国際交流基金として100万円を寄附)

マツダ労働組合(広島市・市中心障害者福祉作業所にポンゴワゴン車1台を寄附)

日本電信電話株式会社山口支店(熊野町・渦上中学校インターネット環境整備資金として70万円を寄附)

# 山口市から11人

## 平成10年秋の叙勲・褒章

山口市在住で受章された方々は次のとおりです。( )内は年齢・住所・主要経歴です。(敬称略)

### 秋の叙勲

勲三等旭日中綬章  
河野信助・教育研究功勞(76・中市町・長崎大学名誉教授)

勲四等旭日小綬章  
若林久士・裁判所事務功勞(70・吉敷・元山口家庭裁判所首席家庭裁判所調査官)

勲四等瑞宝章  
今藤正行・地方自治功勞(70・江崎・元山口県議会事務局局長)  
尾崎秋信・教育功勞(73・京都町・元公立高等学校校長)  
柴田固邦・地方自治功勞(70・錦町・元山口県監査委員事務局局長)  
新谷孝之・地方自治功勞(70・白石一丁目・元山口県環境部長)  
勲六等単光旭日章  
関光章・消防功勞(73・矢原・元山口市消防団分団長)

野島泰治・消防功勞(70・秋穂二島・元山口市消防団団長)

勲六等瑞宝章  
有吉恵子・社会福祉功勞(58・宮野上・精神薄弱者授産施設「ふしの学園授産部」作業指導員)  
岡田米藏・郵政業務功勞(65・大内御堀・元郵政事務官)

### 秋の褒章

黄綬褒章  
山根隆太郎・業務奨励(司法書士)(65・矢原・司法書士)

### 総務庁長官表彰 行政相談委員

10月12日、東京都で総務庁長官表彰式典が行われ、次の方が表彰されました。( )内は住所・功績です。(敬称略)

鈴木スミ子(中央三丁目・15年にわたり山口市行政相談委員として苦情等の解決に尽力)

### 統計功勞者表彰

11月5日に行われた山口県統計大会で、長年の統計調査の功績に対し、次の方々と団体が受けられました。(敬称略)

総務庁長官表彰  
藤井恵子(吉敷・小売物価統計調査)  
藤井千代子(下小鯖・統計功勞者)  
経済企画庁長官表彰  
徳本時枝(下小鯖・消費動向調査)  
文部大臣表彰  
市立良城小学校(吉敷・学校保

健統計調査)  
通商産業大臣表彰  
山口中央農業協同組合(吉敷・商業統計調査)  
生活協同組合コープやまぐち(下小鯖・商業統計調査)  
労働大臣表彰  
山田玲子(黄金町・毎月勤勞統計調査)  
全国統計協会連合会会長表彰  
藤井千代子(下小鯖・統計功勞者)  
山口県統計協会会長表彰  
井本房子(名田島・統計功勞者)  
木原シズエ(大内御堀・統計功勞者)  
田福キミエ(吉敷・統計功勞者)

### 山口県選奨規則による功勞者表彰

表彰式が11月20日、県庁で行われ、次の方が表彰されました。( )内は年齢・住所・功勞概要です。(敬称略)

#### 芸術文化功勞

小林榮治(73・東山1丁目・県指定無形文化財「鷲流狂言」技術保持者)

田村哲夫(74・道祖町・元県文書館専門研究員)

#### 社会事業功勞

中川文子(76・駅通り1丁目・県母子寡婦福祉連合会常務理事)

波多野正保(76・今井町・県老人クラブ連合会会長)

新井正雄(70・鑄銭司・特別養護老人ホーム梅光苑苑長)

長安富夫(64・新馬場・牧野大内塗大内人形職人)

戸谷雅夫(69・黒川・県少年相談員連絡協議会副会長)

#### 社会教育功勞

河野輝枝(76・宝町・県連合婦人会会長)

#### 産業功勞者

柳新治(73・大内長野・県農協中央会副会長)

岩本和美(66・秋穂二島・山口漁協組合長)

# 着実に進む山口市の下排水対策

## 市内で2か所目 名田島地区農業集落排水事業処理場完成

「農村集落の下水道」である農業集落排水事業。山口市は「公共下水道事業」、「合併処理浄化槽設置整備事業」、「農業集落排水事業」などを柱とした「山口市総合下水道基本計画」を策定し、総合的な下排水対策を進めています。このような中、名田島地区（一部陶を含む）を対象とした農業集落排水事業の処理場が完成、10月30日に通水式が行われ、一部の家庭で利用がはじまりました。農業集落排水事業の処理場は仁保下郷地区について市内で2か所目です。

### 山口市の穀倉地帯

#### 名田島地区

豊かな田園風景が広がる山口市南部の名田島地区。その田園の大部分は寛永3年（1626）から昭和初めまでの実に5回にわたる多くの先達たちの干拓によって形成されました。「名田島の歴史は干拓の歴史」と言われるゆえんです。

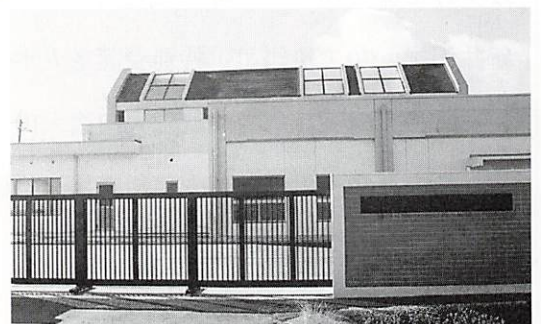
こうした大きく広がる田園の中



起動スイッチが押され処理場への通水がスタート

で、名田島地区は農業就業者の割合が32%と、市内16地区の中で一番高くなっています。（平成7年国勢調査）。また、昭和56年から、多くの地元の方の協力のもと、ほ場整備が実施され、生産基盤の整備も着実に進んでいます。

しかし、近年では生活雑排水などの影響から河川や農業水路などで水質の汚染がみられるようになってきます。また、それに呼応するよう「我が家に下水道をひいてほしい」という声も高まり、生活環境の面でも水環境の保全是大きな課題となってきました。



この処理場には汚水を安定的に処理する「回分式活性汚泥方式」と効率的な配送収集ができる「真空システム」が採用されています

平成12年3月に  
すべての工事が完了予定

農業集落排水事業着手のきっかけとなったのは地区の土地改良区に提出された農協婦人部の要望書です。この事業は、地元の賛成と同意に基づき、地元が市へ施工申請をし、国での事業採択ののち、事業費の一部を地元も負担して実施するという、「行政と地元が一緒に進める事業」という性格のもので。当時、多額の負担を伴ったほ場整備を概ね終えたばかりでしたが、女性の皆さんからの「ぜひ農業集落排水事業の実施を」という声を地区の皆さんが受け止め、「名田島地区独自の農村下水

## 「事業推進の力となったのは 地区の皆さんの理解と協力です」

道」である農業集落排水事業の実施となったものです。事業は平成6年度に工事に着手。この度は集落からの汚水が一括して集められて処理される処理場が完成、一部で利用できるようになりました。

これにより計画戸数606戸のうち、120戸の利用開始となりましたが、残りも順次工事を進め、平成12年3月にすべての家庭で接続工事が可能になる予定です。

また、名田島地区のほかに工事を進めている仁保中郷地区については平成15年3月に工事が完了する計画です。

これから処理場の管理運営や使料の徴収にあたるのが管理運営組合。その組合長が竹内勲さんです。

「名田島地区もほ場整備という大きな事業を経験しましたので、それがこの度の事業の大きなパワーになったと思います。名田島地区のこのパワーは今後のまちづくりにもつながっていくと思っています」。「この地区は昔から水との戦いでした。干拓地という地形的な

影響から昭和17年には大きな風水害にも遭っていますし、最近では洗濯の雑排水の影響などにより水質汚染も進んでいます。そういう中でこの事業が実施できたということは、ひとつの大きなステップを越えたような気がしています」。

地元での事業の推進組織として、地元調整などを行ってきたのが農業集落排水事業推進委員会。その会長として尽力されたのが末

一年の最後を締めくくる十二月は「師走」と呼ばれ何かと忙しい月です。大掃除や年賀状書きなど新年を迎える準備でつかの間すぎてしまいます。一方、この慌ただしさの中で、人それぞれ感慨にふけるのもこの時期ではないでしょうか。

国内を吹き抜けている景気低迷の嵐は一向に止む気配が見えません。県内の経済情勢も「停滞状態」からさらに「低迷状態」へと極めて厳しい状態に陥っています。「景気はどねいかの」の言葉が挨拶だったのに、今で

した残虐、悪質、卑劣きわまりない事件。断じて許せません。

冬の訪れを告げる「初霜」「初

### さないコラム

はこの言葉が使われません。さらに、この景気の先行き不安のなかで、人の尊い命を踏みにじろうと

水」「初雪」の予報を聞く度に冬の到来を身を持って感じる季節です。また、十二月二十二日は「冬至」で、一年中で昼間の時間が最も短い日、すなわち夜が最も長い日です。この冬至を過ぎればすぐに正月。そして一九九九年。一九〇〇年代の最後の年です。新しい年が「冬至」を過ぎるがごとく、一日も早く明るい光が長く照らし続けるよう景気回復はもちろん、すべての面でいい年となりますよう切に願うところです。

市長 佐内正治



竹内勲さん（左）と末田昌義さん

田昌義さんです。「ほ場整備で多くの費用負担をしてもらったばかり。これ以上の負担はもう地元の方々にお願いできないと思いますね」。現在、推進委員会は解散し、末田さんは管理運営組合の副会長としてご活躍です。

「ほ場整備という大事業が一段落した矢先の婦人部からの要望書。私たち総代会メンバーは皆無理と思っていました。だけど、要望書の中をみるとメンバーの奥さんや嫁の名前があるんですよ（笑）。この事業は女性パワーに私たちがひっぱられたんですわ」。「ほ場整備の償還金の支払いや減反などが続く中での事業申請でした。皆さんほんとによく理解、協力してくれました（涙）」。

## 第2回

**(仮称) 文化交流プラザの役割とは**

(仮称) 文化交流プラザ基本計画について

やまぐち情報文化都市基本計画の中で拠点施設として位置づけた(仮称)文化交流プラザは平成6年のプラザ基本構想を経て、平成8年にプラザ基本計画を策定、その中で施設の概要を位置づけています。今回は、この基本計画に示している施設の内容や役割について紹介します。

「情報と文化の港」  
「まち全体のシンボル」

## 交流の核

## (仮称) 文化交流プラザ

前回(11月1日号)のシリーズ第1回では、平成5年に策定した「やまぐち情報文化都市基本計画」の概要を、そして、この計画は中園町一帯29ヘクタールを「情報と文化の港」としてつくるものであることをご紹介しました。

にぎわいと活気があふれるこの港のシンボルであり、交流の核である拠点施設が(仮称)文化交流プラザです。

やまぐち情報文化都市基本計画では(仮称)文化交流プラザを次のような施設と位置づけています。

「市民文化の醸成、生涯学習の推進等を図るための施設として(仮)中央公園の広場と一体的利用を想定する拠点施設として計画する。計画にあたっては専用ホール等の導入を検討する他、既存施設、計画中の施設と

の機能分担に配慮するとともに、規模・整備時期等については市の財政負担の観点にも十分な考慮を行う」

## 期待感あふれる施設に

(仮称)文化交流プラザは「情報と文化の港」の中だけではなく、元気なまちづくりに向けたまち全体の拠点施設でもありと考えています。そのためには、市民の皆さんがたくさん集い、楽しく憩える施設である必要があります。

休日の昼下がりなど、何もすることがないときに、ふと思いついて行ってみたくなる場所。そして、そこは365日、いつも誰が行っても楽しめるような何かの公演や展覧会、イベントなどが開催されていて、若者や家族連れなど、たくさんの方々が集まり、休んだり、食事をしたりするにぎわいあふれる場所！

(仮称)文化交流プラザは「行ったらいつも何かある」という期

待感もてる、そんな場所を目指しています。

## 多くの意見を反映した 施設内容

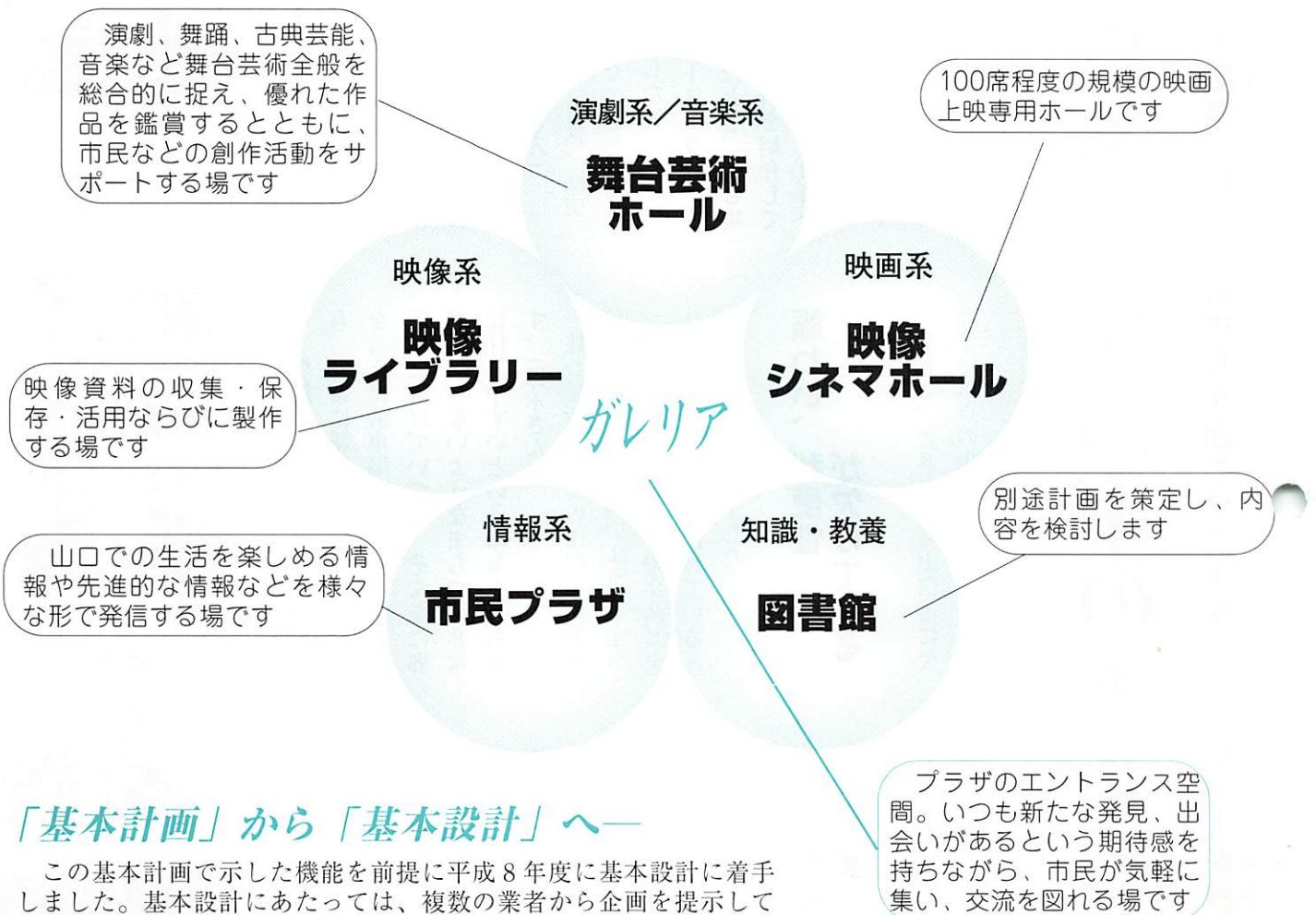
市民の皆さんにとって憩いとにぎわいの場所にしていくため、平成5年から高校生を対象にしたアンケート調査や市民アンケート調査、市民懇談会などを行い、(仮称)文化交流プラザにどのような機能があげばいいのか、たくさんの市民の皆さんからご意見をお聞きしました。

その結果、「プラザにはいい施設」として「国内外の有名なアーティストが公演できる音楽ホール」や「最新設備や内容の充実した映画館やミニシアター」といった気軽に行ったり利用できる施設とともに、「市内外の催し物や生活に関することなど総合的な情報を提供する情報センター」がほしいという意見がたくさん寄せられました。

こうした意見を踏まえ、また、現在ある他の施設の機能分担なども検討して、平成6年12月に(仮称)文化交流プラザ基本構想を、平成8年5月に基本計画を策定いたしました。

# このような施設内容を計画しています

基本計画で位置づけた(仮称)文化交流プラザの機能構成は次の6つです。



## 「基本計画」から「基本設計」へ

この基本計画で示した機能を前提に平成8年度に基本設計に着手しました。基本設計にあたっては、複数の業者から企画を提示してもらい、審査する「プロポーザル方式」により(株)磯崎新アトリエ(代表 磯崎新氏 東京)に決定しました。

磯崎氏は、「やまぐち情報文化都市基本計画」と「(仮称)文化交流プラザ基本計画」をもとに、「情報」と「アート(芸術)」というキーワードを用いながらプラザの機能構成を解釈し、今年5月に基本設計としてまとめました。



細川博康さん (広島市)



西村清巳さん (福岡市)



波多野俊明さん (広島市)



鈴木信義さん (広島市)



手島佐利さん (福岡市)



星川浩平さん (広島市)



西村 一さん (大分市)

今回お集まりいただいた皆さんは、山口市のご出身、あるいは仕事などの関係で以前山口市に住んでおられた方々です。山口市は、ふるさと、また、なつかしの地ということで、今後のまちづくりへの関心も高く、とても熱心にご意見、ご提言をいただきました。

### 自然や景観に恵まれ 暮らすには最適

出席者の皆さんやその知人が、山口市の印象や魅力をどのように捉えておられるのでしょうか。  
— 広島の人達が、山口に行くと帰ってきたら「きれいな街ね」「しつとりと落ち着いて」と私に

いってくれます。(鶴さん)

— 山口の良いところは、自然が豊富なこと、歴史的なものを含めて観光資源がわりとコンパクトにまとまっているということ。それから道路が広く、交通マナーも非常に良いですね。(細川さん)

— その他の出席者も、自然、歴史、文化、景観といったことを一番評価されておられました。

— 以前仕事でオーストラリアの若者を広島に呼んだとき、住む場所のでいくらか便利な場所を紹介しても気に入らない。そこで山口市を提案したところ、とても気に入ってくれて仕事は3年契約だったが、6年目の今も山口に住んでいます。(波多野さん)

— 生鮮市場に行くんですけれど、非常に新鮮で安いですね。欲を言えば駐車場がないが、(車を)道路に投げていても、そんなに邪魔にならないようなまちで、非常に住みやすいという印象を持ちます。(鈴木さん)

— 住む場所としての山口市の評価は、皆さんかなり高いようでした。また、観光地としてのホスピタリティに好印象を持たれているといった発言もありました。

### 賑わい、利便性が欠けている

一方で、皆さんから山口市に欠けている点の指摘もありました。

— 多かったのは、経済的活力や街の賑わいといったことです。

— 若い人を引きつける魅力はない感じですね。(手島さん)

— (山口の) 学生に聞いたら「山口で買い物をする」って子がい人もいないんですよ。不思議ですね。(上村さん)

— 産業としてコレといったものがない。就職するというチャンスが少ないんですよ。(平川さん) 情報・文化の物足りなさの指摘がありました。

— 広島に永住するか、山口に帰って家を建てようか非常に迷っています。ただ、山口はちょっと活力が乏しいかなあと思う。何か趣味をやるうとしても仲間が少ない

# 外からみた山口市のまちづくり

— 広島・福岡での市長を囲むグループインタビューから —



グループインタビュー





10月16日の広島会場

とか、文化的な催しが広島に比べ  
ると少ないとか。(細川さん)

— 宣伝、ピーアール不足の指摘も  
いただきました。

— 知り合いに山口と聞いて頭に浮  
かぶことを訪ねたが、県庁は下関に  
あったような気がするとか、五重塔  
は重要文化財だったろうかといった  
ありさま。宣伝が少し不足している  
のでは。(星川さん)

— 都市的利便性ととりわけ交通アク  
セスの不便さの指摘がずいぶんあ  
りました。

— 山口では交通手段が車しかな  
いんですよ。(吉岡さん)

— 山口大学なんかで催しをする  
ときに大変困るんですね。湯田温  
泉に皆さんお泊まりになるでしょ



松富哲生さん (広島市)



村上検二さん (熊本市)



吉岡 憲さん (福岡市)



浦上康子さん (北九州市)



平川明宏さん (中間市)



鶴 昌代さん (広島市)



上村元子さん (福岡市)

市は、「これからのまちづくりをどう進めていくか」の計画案(新総合計画案)  
づくりを行っています。作成に当たって、多くの市民の皆様から意見をお聞きし  
て進めているところですが、市民の方だけでなく、近県にお住まいの方のご意見  
も参考にしようとして、去る10月16日と29日に広島市と福岡市の会場に、山口市に縁  
のある皆さんにお集まりいただき佐内市長が直接お話を伺いました。

う。それからタクシーしか手段が  
ないんですよ。あれ不評なんですね。  
「山口でやると歩かなければ行けな  
い」と。(上村さん)

— 景観などへの配慮の足りなさを  
残念に思う意見がありました。

— すごいガツカリなのは、看板  
や建物の色が辺りの景観を損ねる  
ような店舗ができてしまうことで  
すね。(西村一さん)

— 雪舟庭などは以前は、とても  
自然だったのが、今は観光地化し  
て残念です。(浦上さん)

— 雪舟庭などは以前は、とても  
自然だったのが、今は観光地化し  
て残念です。(浦上さん)

### 特長を生かした まちづくりを

まちづくりへの提案や期待で

は、まず経済的な発展を望むもの  
として、特に中心商店街の活性化、  
湯田温泉を中心とした観光面の振  
興へのご意見がありました。

— 何か(人を)引っ張り込める  
ものを温泉と一緒にドッキングさ  
せてやれないのかなあといつも思  
うんですよ。(西村一さん)

— 商店街はいつもお祭りで、そ  
こに行ったら楽しいという商店街  
であって欲しい。よそから来ても  
パッと入れるような駐車場が必要  
だと思います。(星川さん)

— 商店街に学生に来てもらうた  
めには特に女性にとって魅力のあ  
るまちなしにないためです。(村上  
さん)

また、活性化の手法への注文

や、山口市の特長を活かしたまち  
づくりを期待する発言が多くあり  
ました。

— 発展してもいいから自然を残  
して欲しいです。(浦上さん)

— インフラがいくら整っても、  
産業を誘致してもため。本当に文  
化の薫り高い都市にならないとい  
けないと思います。(西村清巳  
さん)

— 精神文化を大切にしたいまちづ  
くりをして欲しいです。(鶴さん)

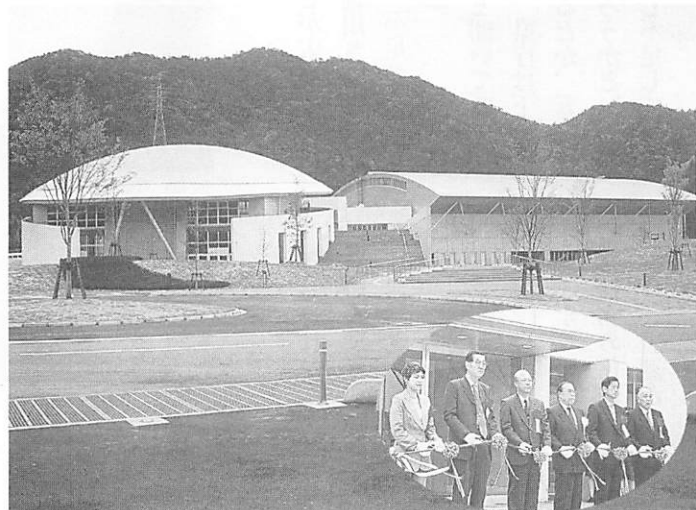
— 自然を残してもらいたい。そ  
して、歴史を教育に活かして欲し  
いです。(松富さん)

市では、これらのご意見を新総  
合計画案に反映させてまいりま  
す。ありがとうございました。

# できごと

早いもので今年も残すところあと1ヶ月。今年もいろいろなことがありました。

ここでは、山口市の1998年を写真で振り返ってみます。



▲待望の山口リフレッシュパーク総合体育館が完成、こけら落としとして全日本の選手たちによる新体操エキシビジョンが行われました（4月12日）



▲分別の徹底、収集作業の安全性の確保などを目的とした指定ごみ袋が導入されました（1月5日）



▲山口市自動車事業経営審議会が「市営バスの存廃をすみやかに決断すべき」と答申しました（3月30日）



▲中部クリーンセンターが完成、より安全で効率的にごみを焼却できるようになりました（3月26日）



▲佐内市長3選、晴れやかに初登庁（4月27日）

## 今年の主なできごと

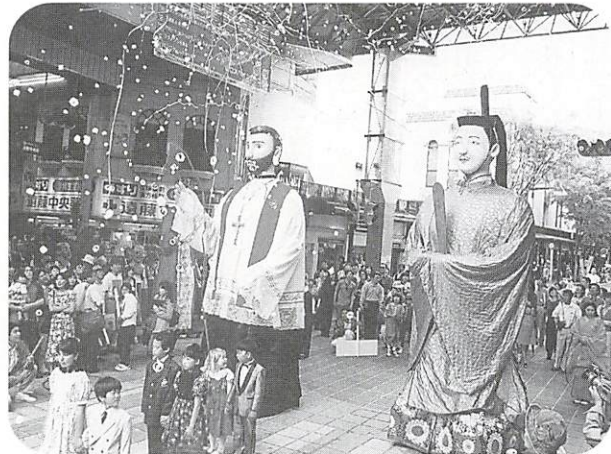
- 1月
- ▽可燃ごみの指定ごみ袋収集制度開始（5日）
  - ▽中原中也記念館入館者20万人を記録（30日）
- 2月
- ▽第三次行政改革大綱を発表（2日）
  - ▽第3回中原中也賞に名古屋在住の宗敏錦氏の「ブルックリン」が選ばれる（21日）
- 3月
- ▽リサイクルプラザ開館1周年バースデーフェスタ（8日）
  - ▽県中部環境施設組合中部クリーンセンター完成（26日）
  - ▽山口市自動車運送事業経営審議会がバス事業の経営形態とその方策について市長に答申（30日）
- 4月
- ▽第三次行政改革により、市の組織を7部1室35課に改編（1日）
  - ▽鴻の峰創造の森オープン（12日）
  - ▽やまぐちリフレッシュパーク総合体育館オープン（12日）
  - ▽「ば・る・るプラザ山口」オープン（14日）
  - ▽市長選挙で佐内正治市長が三選（26日）
  - ▽山口サビエル記念聖堂完成を記念して山口スペインカーニバルなど多くのイベント開催（29日～5月5日）
- 5月

1998

# 今年の主な



▲市民の皆さんがまちづくりについて学習・交流する、やまぐち住まい・まちづくりセンターがオープンしました(10月10日)



◀サビエル記念聖堂の完成にあわせてスペインカーニバルが開催され、多くの人でにぎわいました(4月29日~5月5日)



▲中原中也記念館が「公共建築百選」に選ばれたのを記念して、佐内市長と福田百合子館長が記念プレートをはめこみました(11月20日)

▼(仮称)文化交流プラザ基本設計の概要が設計者の磯崎新氏によって説明されました(5月18日)



▲優れた現代詩集に贈られる第3回中原中也賞が宗敏鎬氏に贈呈されました(4月11日)

- ▽高齢者生きがいセンター「げんきやかた」が吉敷に完成(12日)
- ▽(仮称)文化交流プラザの基本設計発表(18日)
- 7月
  - ▽2001年に阿知須町で開催される21世紀未来博の市推進本部を設置(1日)
- 8月
  - ▽市情報公開及び個人情報保護制度の検討委員会を設置(17日)
- 9月
  - ▽(仮称)文化交流プラザ・地元ソフト研究会が発足(3日)▽パークロード周辺が「都市景観百選」に選ばれる(30日)
- 10月
  - ▽助役に原昌克氏、収入役に平田悟氏が就任(1日) 中原中也記念館が国の「公共建築百選」に選ばれる(6日)▽やまぐち住まい・まちづくりセンターオープン(10日)▽名田島地区の農業集落排水事業処理場が完成、通水式(30日)
- 11月
  - ▽氷上山・興隆寺の木造扁額「氷上山」を県有形文化財に指定することを山口県文化財保護審議会が答申(4日)▽介護保険制度の円滑なスタートのため山口市すこやか長寿対策審議会を設置(12日)



## お気軽講座

- A子 私がいるボランティアサークルで、もっと山口市のことを勉強していこうということになったんだけど。
- B子 それだったら、市役所の職員が私たちのところに出向いてお話しをしてくれる講座があるわよ。
- A子 え? そんなものがあるの?
- B子 それはね、「お気軽講座」といって、聞きたい内容を講座のメニューから選んで申し込むと、市の職員が講師となって私たちのところに来て、市のとりくみや職員の専門的な知識をお話ししてくれるのよ。
- A子 どんなメニューがあるの?
- B子 「まちづくり」や「福祉・医療」、「教育」など多くの分野で53ものメニューがあるの。そのメニュー表は市役所や出張所、公民館にあるわよ。
- A子 だれでも申し込めるの?
- B子 市内の10人以上のグループで申し込めば大丈夫よ。無料だし、土日や祝日であっても夜の9時まで出向いてお話しをしてもらえるの。申込書も市役所と出張所、公民館に置いてあるわよ。
- A子 そうなんだ。早速申し込んでみようっと。

問い合わせ・申し込み  
市生涯学習推進本部事務局  
(市教育委員会生涯学習課)  
(☎34-2865)

## 市税 Q&A

Q. 入湯税という税金があるそうですが、どういう税金ですか。

A. 温泉に入るときに課税されるものです。温泉旅館などにお泊りになると、宿泊料金等と併せて旅館の方へ1人1泊につき150円お支払いいただくことになっています。日帰りで温泉を利用される方は1人50円を利用料金と併せてお支払い

払っていただいています。

そして、旅館(浴場経営者)の方が、皆さんからお預かりしている入湯税を1月分まとめて、翌月15日までに申告納付することになっています。

ただし、年齢が12歳未満の方、一般公衆浴場などを利用される方、修学旅行などの学校行事に参加して利用される方などは課税されません。

この税金は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、観光施設、消防施設などの整備に使われていて、山口市では現在、湯田温泉と長沢温泉のすべての温泉施設が対象になっています。

## Q&A 保険年金

Q. 私は来年、20歳になる学生ですが、国民年金に加入しないといけないのでしょうか。

A. 20歳以上60歳未満の日本国内に住所がある人は、すべて国民年金に加入することになっています。国民年金は、すべての国民に共通の「基礎年金」を給付することを目的

とし、その費用を国民年金の被保険者全体で公平に負担しようという制度だからです。したがって自営業の人、サラリーマンや大学生、無職の人なども被保険者となります。

あなたの場合も20歳になれば国民年金に加入し、保険料を納めていただくこととなります。

また、いろんな事情で保険料が納められないときは、保険料の免除制度がありますので、市保険年金課(☎34-2802)へお問い合わせください。



### 佐野史郎さん

俳優。島根県松江市出身。劇団シェークスピアシアター、劇団状況劇場を経て、現在舞台、映画、テレビで活躍中。主な作品は映画「ゲンセン主人」、テレビ「ずっとあなたが好きだった」主演男優賞など受賞歴多数。11月17日に来山し、唐十郎作のひとり芝居「マラカスー消尽」を上

— 島根県松江市の出身だとか。  
ええ。高校卒業までいました。実家はまだ松江にいますので、年に数回は帰郷しています。山口は今回が初めてです。  
— 地方公演では各地を回られる

— と思いが何か感じられることはありますか。  
どこのまちでも共通していますが、そのまち特有のよさや風景などが失われつつあることがとても気になっています。文化と経済が同時に発展できないこの国の体質がまちの構造にみえる気がしますね。

— 個性が失われつつあるということでしょうか。  
そうですね。東京にいますと地方はすべて同じようにみえるときがあります。しかし、同じように見えてもまちの持つ価値観はそれぞれ違うはずです。新しいまちの動

きを受け入れながらもそうした昔からの価値観を残そうとしているまち、いわば新しいものと古いものがせめぎあっているまちはとてもすてきだと思います。そのようなせめぎあっているまちに住んでいる人々は、まちに愛着や誇りを持つているんでしょうね。そういった意味で私が好きなまちは秋田県の角館町や長野県の諏訪市です。故郷松江市もいまちだと思っています。  
— 山口はいかがですか。  
ぶらっとまちを歩いてみましたが、りっぱなビルがあつたり、まちも整備されていて経済的に活性化しようという感じを受けました。一方で細い路地にはいつてみると、まちの精神にひびくような何かも感じました。まちに冷めたりしないで、愛着と誇りをもってみんなのでせめぎあつてほしいと思います。  
— 中原中也がお好きだとか。  
萩原朔太郎や中原中也の詩はほんとうによく読みました。中也の詩の中にある無常感私の芝居に対するエネルギーにもつながっています。そうしたエネルギーは私の体の奥深くに入つて染みついて



今年4月山口訪問の際、初めて着たきものにみんな大はしゃぎ。(写真左がマリアさん)

クリスマスの夜の家庭料理は、アーモンド、砂糖、はちみつ入りの甘いお菓子「トゥロネス」を最後に食べて終了します。  
31日夜は家族全員が集まって、12時の鐘が鳴るのに合わせ、ぶどうを食べます。鐘は12回鳴って、鳴るごとに1粒、幸運を祈って、1人12粒食べながら年を越します。  
— プロスペロ アニョ エゴ!  
山口市のみなさま よいお年を!  
情報提供はパンブローナ市役所マリア市長秘書室長さんでした。



もうすぐ新年・パンブローナ編



お知らせ

公共建築パネル展

「再発見 あなたのまわりの公共建築」

建築士の目で選んだ、県内の楽しめるたくさんの方の公共建築をパネル展示します。

◇期間 12月5日(土)～7日(月)

◇時間 午前10時～午後8時

◇場所 ゆめタウン山口(大内御堀1302-1)

◇問い合わせ 県建築指導課(☎33-3843)

テレホン相談所

「クレジット・サラ金・カード110番」

クレジット、サラ金、カードによる多重債務でお困りの方はご相談ください。

◇日時 12月12日(土) 13日(日)  
両日とも午前10時～午後4時  
◇相談先 山口県司法書士会館  
☎0120-340-260(フリーダイヤル)

海外たすけあい義援金募集

海外の恵まれない人々に援助の手を差し延べる「NHK海外たすけあい」を12月1日(火)～25日(金)の間実施します。  
集められた義援金は、災害対策事業等に役立てます。

義援金受付窓口は、郵便局、取扱標示のある金融機関、農協、漁協、NHK(中央5-14-22)や日本赤十字社山口県支部(野田172-5)、山口赤十字病院(八幡馬場53-1)、血液センター(野田172)です。

みんなの目 みんなの力で 暴力追放

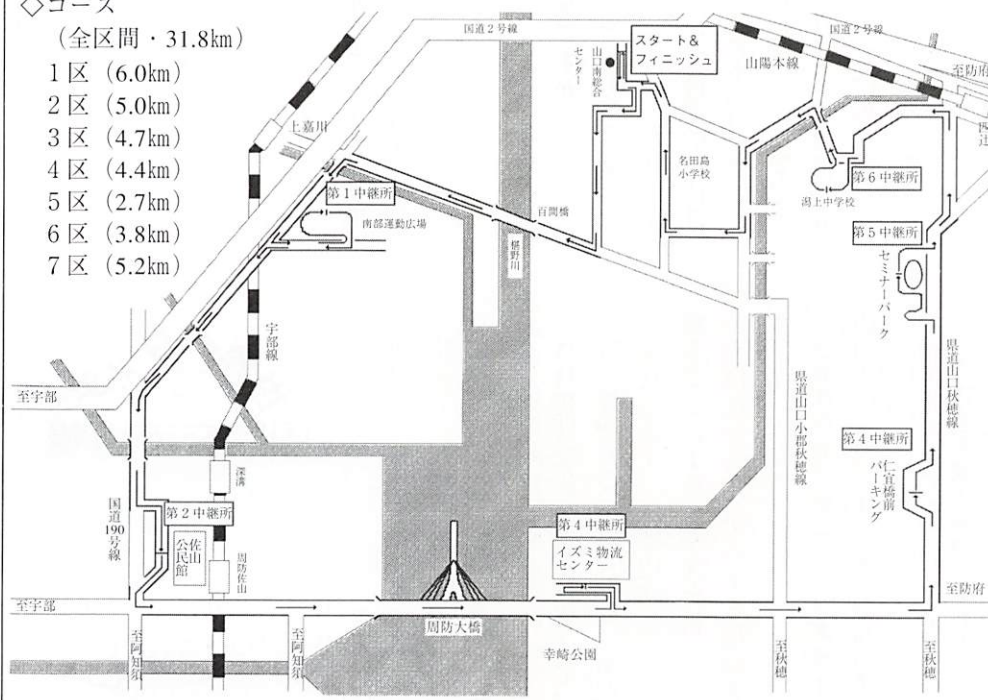
昨今、暴力団による市民の被害が増えています。「暴力を一掃しよう」という皆さんの気持ちや行動こそが、安心して暮らせるまちづくりの決め手になります。暴力追放に取り組んでいきましょう。

- 相談・問い合わせ  
県暴力追放運動推進センター  
・暴力追放相談電話(☎23-8930)  
・離脱相談電話(☎28-8704)  
※秘密厳守・相談無料です。



第50回記念 山口市駅伝競走大会

- ◇コース (全区間・31.8km)
- 1区(6.0km)
  - 2区(5.0km)
  - 3区(4.7km)
  - 4区(4.4km)
  - 5区(2.7km)
  - 6区(3.8km)
  - 7区(5.2km)



- ◇日時 平成11年1月17日(日) 開会式午前8時35分/午前10時30分山口南総合センタースタート
- ◇部門 地区の部、一般1部(昨年の上位15チーム)、一般2部、女子の部
- ◇チーム編成 監督1人、選手7人、補員3人(監督と選手の兼任可)
- ◇参加資格 中学生以上の市内在住、在勤、在学および小郡町在住の人
- ◇参加料 1チーム5千円
- ◇申し込み 平成11年1月8日(金)までに所定の申込書に参加料を添えて、市体育課(☎34-2874)へ
- ※申込書は市体育課または各公民館、山口南総合センター、やまぐちリフレッシュパークにあります。
- ※1月12日(火)午後2時から、市役所3階大会議室において監督者会議を開催します。

# 12月は大气污染防治推進月間です

最近の大气污染防治は、窒素酸化

物や粒子状物質によるものが主体となつています。その主な発

生源の一つは自動車です。ドライバーの皆さんが、日頃の運転



時にちよつとした気配りをするので、大气污染防治を減らすことができます。

大気に優しい運転

「8か条」

- ①アイドリングは必要最小限に
- ②急発進・急加速はやめよう
- ③シフトアップは早めに
- ④不要貨物は車の外に
- ⑤エアコンの利用は適切に
- ⑥迷惑駐車は環境にも「迷惑」
- ⑦定期点検・整備はきちんと受けてよう
- ⑧自動車を選ぶときは低公害車

12月11日(金)～1月3日(日)

## 思いやり みんなですすめる 交通安全

重点目標

- ◇歩行者・自転車利用者の交通事故防止
- ◇飲酒運転等無謀運転の防止
- ◇シートベルトの着用の徹底



12月、1月は特にお酒を飲む機会が多くなります。「少しくらいなら大丈夫」と考えないで、飲酒運転の危険性を認識し、飲酒の場には車で行かないようにしましょう。

また、「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない、乗るなら飲ませない」の飲酒三ない運動を推進し、飲酒運転を追放しましょう。



子ども会でお茶とお花をされるのは珍しいですね。

昭和55年当時、子ども会活動は、スポーツ関係のものが多かったので、何か違ったものを始めようという事になったのがそもそもきっかけです。その中で、子ども会の役員をしていた私たちにできることをという事で、お茶とお花の教室をすることになったんです。

—どんな活動をされているんですか。

月に2回ずつ、お茶とお花の教室をやっているんですが、毎回テーマを決めて取り組んでいます。例えば今回の白石フェスティバルの展示では、自分の行ってみたい国をイメージして子どもたちが花を生けているんですよ。

—これからはどのよ



### 白石地区子ども会 お茶お花入門教室

昭和55年発足。現在、会員数は17名。  
地区のみなさんの協力で、子ども会活動としてお茶とお花の教室に取り組んでおられます。

—うな活動に取り組んでいきたいですか。

地区の方から「せっかくやってるんだから」と声をかけていたでいて、今年の白石フェスティバルでは、初めて子どもたちがお茶をたてるお茶席を設けることになったんですよ。

10月のアートふる山口でもお茶席を設けさせてもらいましたし、これからも様々な形で子どもたちが地域での活動に参加できる場を設けていきたいですね。

## かみかみ サラダ

料理名のとおり、さきいかを使った、かみごたえのあるサラダです。子どもが好きなさきいかを使っているので、野菜の苦手な子どもでも食べやすいようです。また、ひじきで、不足しがちなカルシウムも摂ることができます。

今は、大根がとてもおいしい季節なので大根を使いましたが、大豆もやしや切り干し大根を使ってもおいしくできます。

最近では、かまな子子ども、かまな子子どもが増えています。よくかまないと、あごの発達が悪くなったり、歯の大きさが変わらぬので歯並びが悪くなったりします。そうすると、虫歯や歯ぐきの病気になるやすくなるのです。

ご家庭でもかみごたえのある料理を取り入れて、かむ力をつけてほしいと思います。

大殿小学校栄養士

藤村美津子



野菜が多いけど、すききらいしないよ。  
(大殿小学校2年1組のみなさん)

## かみかみサラダ

エネルギー49kcal たんぱく質2.4g  
(1人分)

材料(4人分)

さきいか	12g
さきゅうり	中1本
だいこん	中1/8本
にんじん	中1/6本
ひじき	小さじ1弱
A さとう	小さじ1
しょうゆ	小さじ1/2
いりごま(白)	
B サラダ油	小さじ1と1/2
さとう	小さじ1
しょうゆ	小さじ1
酢	小さじ2

作り方

- ①ひじきをもどしておく。
- ②ひじきを調味料Aで炊き、冷ましておく。
- ③きゅうり、だいこん、にんじんを千切りにし、ゆでた後冷ましておく。
- ④調味料Bを混ぜ、冷ました②③と和える。
- ⑤④に、さきいかといりごまを混ぜて仕上げる。

## 編集後記

▽33年周期のしし座流星群。見ることで、この冬一番の寒さがなおしみる：(T)▽県立体育館と市民球場の解体工事が始まった。長年見慣れた者には一抹の寂しさが：(I)▽今年の冬はいろんな意味で厳しい冬になりそうです(ふ)▽学校deグルメ。取材する側のはずが、逆に質問されてちよつとドキドキ(O)▽佐野史郎と出身が同じ私。ローカルな話で盛り上がりました。(千)▽願いがと考えていたのに肩すかし(〇)

## 表紙写真説明

11月7日、県教育会館ホールで開かれた鷺流狂言定期公演の「呼声」に出演した米本次郎君(写真左)。太郎冠者の役をユーモラスに演じました。鷺流独特の絶妙な所作が、観客のかっさいを浴びました。

